

犠牲者の大半は逃げきれず 阪神淡路大震災から四半世紀

1995年1月17日早朝に発生した阪神淡路大震災は、震度7の大都市直下型地震で神戸市を中心に6,434人が犠牲となりました。その9割が**建物倒壊と家具転倒下敷きによる逃げ遅れ**でした。



あれから26年が経過し、改めて大規模地震に備えて、屋内家具の転倒防止を防災の基本動作として、各世帯で確実に実施しませんか？ **あなたと家族の命を守る大切な行動**として。



リビング

テレビが倒れて、窓ガラスが割れる。

倒れても窓ガラスに当たらない方向におく。テレビ本体を固定する。

子ども部屋

特に子ども部屋では、家具が転倒したときに避難の妨げになる位置に、家具を配置しない。

寝室

寝る位置に家具が倒れてこないよう配置。また、背の高い家具は置かない。

飛散防止フィルムのかわりにうすいレースやカーテンを引いておく。
※ガラス飛散防止に備え、寝床近くにつつ、スリッパを常備することも大切です。

とにかく外部避難路を確保しましょう

▶ 重いものを下に、軽いものを上に収納し、家具を倒れにくくする。

軽い

重い

ストラップ式器具

▶ 液晶テレビはストラップ式器具や粘着マットでテレビ台と固定する。

粘着マット